

健診検査センターニュース

No.569 号

検査受託一時中止のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目の測定試薬におきまして、試薬製造販売会社より試薬の原料供給遅延により、製造販売を一時停止するとの連絡が委託先よりございました。
何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

一時受託中止日： 平成 29 年 3 月 13 日（月）ご依頼分より一時受託中止

一時中止項目： 1696 サイクリック AMP

| | |
|-----|-------------|
| 備 考 | 試薬原料供給遅延のため |
|-----|-------------|

※検査受託再開の時期につきましては、改めてご案内申し上げます。

検査報告遅延のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目の測定試薬におきまして、試薬製造販売会社より試薬の原料供給遅延により、試薬の納品が遅延するとの連絡が委託先よりございました。
何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

報告遅延日： 平成 29 年 3 月 8 日（水）ご依頼分より

報告遅延項目： 2496 I型コラーゲンC末端テロペプチド（ICTP）

検査内容変更のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目内容を変更させて頂くことになりましたので、お知らせ致します。
何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

変更日： 平成 29 年 4 月 1 日（土）より変更

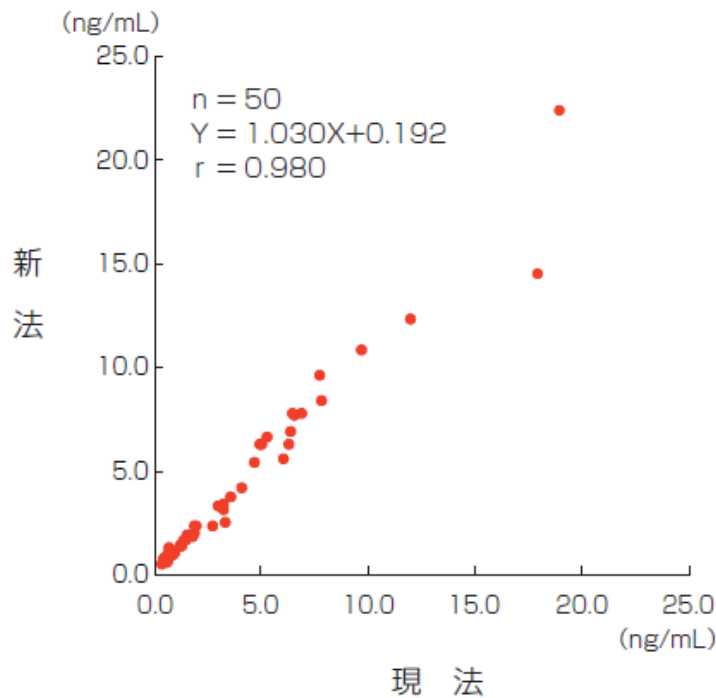
変更項目： 2512 11-デオキシコルチゾール

| | (新) | (旧) |
|------|-------|-------|
| 所要日数 | 8～21日 | 8～14日 |

変更項目： 1285 γ -セミノプロテイン

| | (新) | (旧) |
|------|--|---|
| 検査方法 | CLEIA | EIA |
| 報告範囲 | 0.1以下 0.2~99900000 | 0.3以下 0.4~99000000 |
| 基準値 | 4.0ng/mLは良性疾患との鑑別値です。 | 4.0ng/mLは前立腺肥大症と前立腺癌の判別に用いる上でのカットオフ値です。 |
| 備考 | 現試薬の販売中止に伴い、代替試薬へ変更いたします。これに伴い、検査方法等を変更いたします。 基準値に変更はありません。 | |

▼現法と新法の比較




●参考文献

佐藤 達郎, 他: 医学と薬学 43 (1) : 97~106, 2000.

変更項目： 7135 ヒトパピローマウイルス DNA
(16型、18型、その他ハイリスクグループ)

| | (新) | (旧) |
|----|--|---|
| 容器 | V41 (旧記号 f6) | V70 (旧記号 f4) |
| 備考 | 測定対象は 16 型、18 型、その他ハイリスクグループ (31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 68 型および 66 型) です。「その他のハイリスクグループ」については、型別の判定ではありません。他項目との重複依頼は避けてください。検体に血液が混入していると、データに影響を及ぼす場合がありますのでご注意ください。 | 測定対象は 16 型、18 型、その他ハイリスクグループ (31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 68 型および 66 型) です。「その他のハイリスクグループ」については、型別の判定ではありません。必ず専用容器で採取してご提出ください。他項目との重複依頼は避けてください。検体に血液が混入していると、データに影響を及ぼす場合がありますのでご注意ください。 |

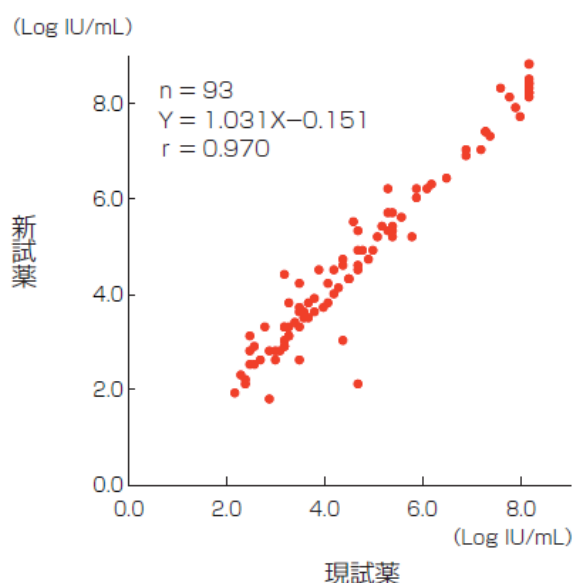
変更項目： 3437 クラミジアトラコマティス DNA
 3438 淋菌 DNA
 3439 淋菌およびクラミジアトラコマティス DNA 同時測定

| | |
|---|--|
|  <p>V50 (F3)</p> | <p>分泌液用容器セットにつきまして、メーカーによる現容器の販売中止、改良新容器へ切り替えが実施されます。</p> <p>現在、太さの異なるスワブ 2 本を採取用セットにしておりますが、採取時の負担が少ない細いスワブのご要望により、採取用スワブを、細く、柔らかい触感のフロックスワブのみとさせていただきます。</p> |
|---|--|

変更項目： 2601 HBV DNA 定量

| | (新) | (旧) |
|------|--|-------------------------|
| 項目名称 | HBV DNA定量 (IU) | HBV DNA定量 |
| 単 位 | LogIU/mL | Logコピー/mL |
| 報告範囲 | 1.0未満、1.0～9.0、 9.1以上 | 2.1未満、2.1～9.0、 9.1以上 |
| 備 考 | <p>感染症PCR項目におきまして、機器老朽化により処理能力の高い新測定機器および機器専用試薬に変更させていただきます。</p> <p>HBV DNA定量におきましては高感度かつワイドレンジの新試薬へ変更させていただきます。また本試薬による測定開始に伴い、昨年ご案内いたしました通り国際単位表記によるご報告に変更させていただきます。</p> | |

▼現法と新法の比較



●参考文献

菅原 昌章, 他: 医学と薬学 73 (10) : 1329~1339, 2016.

変更項目： 3465 抗アクアポリン4抗体

| | (新) | (旧) |
|------|----------------------------------|---------------------------|
| 項目名称 | 抗アクアポリン4抗体 | 抗アクアポリン4抗体 (ELISA) |
| 基準値 | 3.0未満 (U/mL) | 5.0未満 (U/mL) |
| 報告範囲 | 1.5未満、1.5~39.9、 40.0以上 | 1.3未満、1.3~74.9、 75.0以上 |
| 備考 | 現試薬販売中止および改良新試薬の発売に伴い試薬を変更いたします。 | |

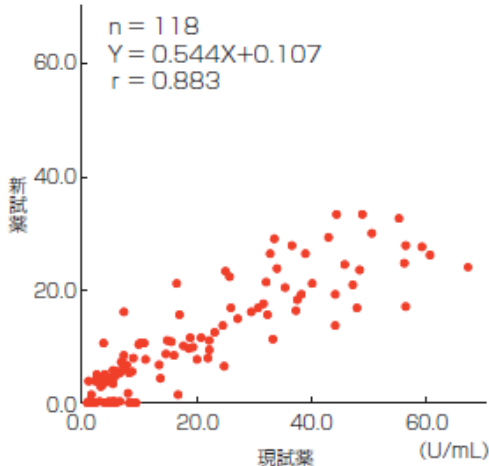
変更項目： 1799 アセトアミノフェン

| | (新) | (旧) |
|-------------------------|--|---|
| 検査方法 | EIA法 | 酵素法 |
| 基準値 (治療濃度範囲) (単位) | 中毒域 200.1以上 (4時間) 100.1以上 (8時間) 50.1以上 (12時間) ($\mu\text{g/mL}$) | 中毒域 4時間後 200.0以上 12時間後 50.0以上 ($\mu\text{g/mL}$) |
| 報告範囲 | 5.0未満、 5.0~999999.9 | 10.0以下、 10.1~999999.9 |
| 製品名・薬剤名等 | アセトアミノフェン、 ピリナジン、ナパ | 高ビリルビン検体、溶血検体は避けてください。アセトアミノフェン、 ピリナジン、ナパ |
| 備考 | 現試薬販売中止および改良新試薬の発売に伴い試薬を変更いたします。 改良新試薬では、高ビリルビン、溶血の共存の影響が改善されています。 | |

▼現法と新法の比較

抗アクアポリン4抗体

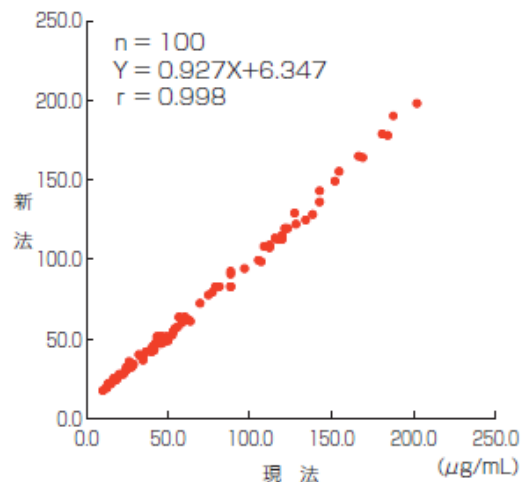
(U/mL)



*測定下限を下回る値も実測値で表示しております。

アセトアミノフェン

($\mu\text{g/mL}$)



●参考文献

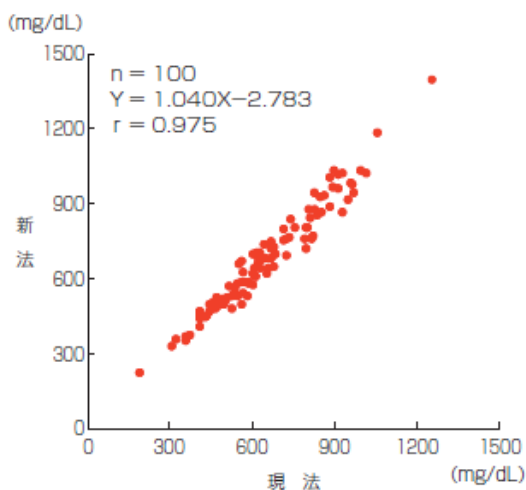
高橋 利幸, 他: 医学と薬学 73 (10) : 1297~1300, 2016.

変更項目： 2908 IgG サブクラス分画

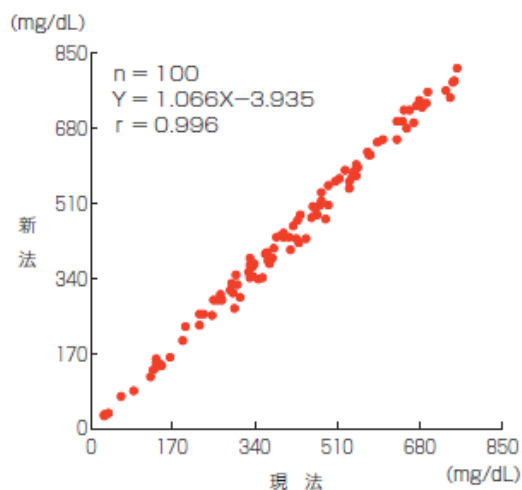
| | (新) | (旧) |
|------|---|---|
| 項目名称 | IgG サブクラス分画 (TIA) | IgG サブクラス分画 |
| 検査方法 | 免疫比濁法および ラテックス免疫比濁法 | ネフェロメトリー |
| 基準値 | IgG1 351~962 IgG2 239~838 IgG3 8.5~140 IgG4 4.5~117 (mg/dL) | IgG1 320~748 IgG2 208~754 IgG3 6.6~88.3 IgG4 4.8~105 (mg/dL) |
| 報告範囲 | IgG1 15.0未満、15.0~99900000 IgG2 2.0未満、2.0~99900000 IgG3 3.0未満、3.0~99900000 IgG4 2.0未満、2.0~99900000 % 0.01未満、0.01~99.99 | IgG1 7.0以下、7.1~99900000 IgG2 8.0以下、8.1~99900000 IgG3 5.0以下、5.1~99900000 IgG4 3.0以下、3.1~99900000 % 0.01以下、0.02~99.99 |
| 備考 | より感度の高い試薬に変更いたします。 | |

▼現法と新法の比較

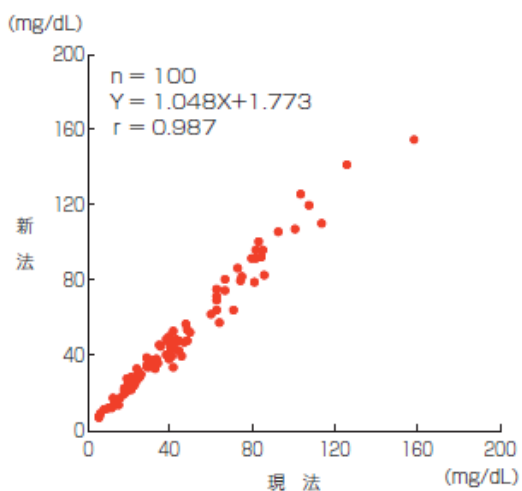
IgG1



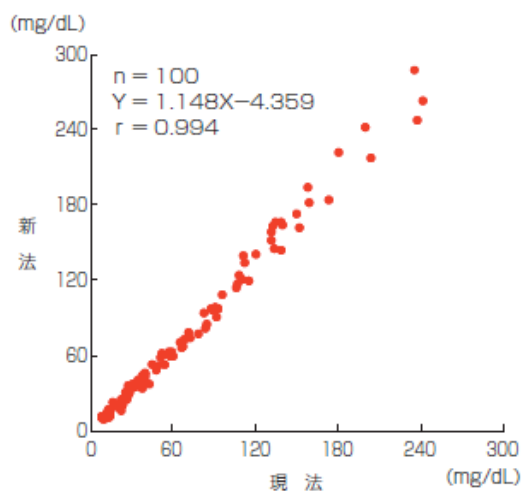
IgG2



IgG3



IgG4



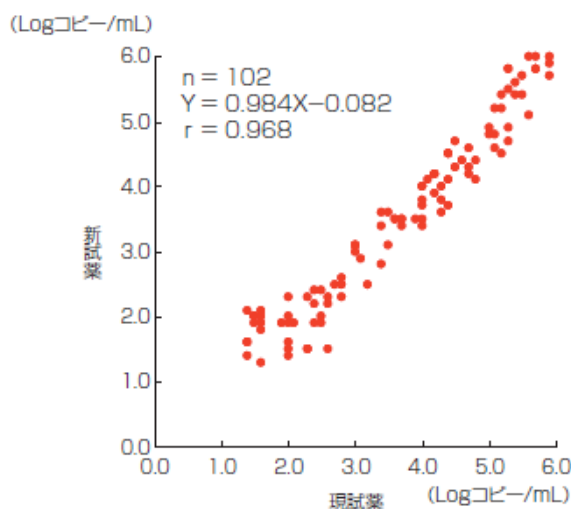
**変更項目： 3262 HIV-1RNA 定量
3300 HIV スクリーニング**

HIV-1RNA 定量におきましては改良新試薬への変更により、検体量が削減され、検出可能なグループ、サブタイプが拡大されます。HIV スクリーニングで HIV-1 RNA 定量に使用する検体量も、同様に変更いたします。

| 検査項目 | 変更内容 | (新) | (現) |
|-------------|------|-----------------------------|-----------------------------|
| HIV-1RNA 定量 | 検体量 | 血漿 1.8 mL | 血漿 3.0 mL |
| HIV スクリーニング | 検体量 | 血清 0.6 mL と 血漿 1.8 mL | 血清 0.6 mL と 血漿 3.0 mL |

▼現法と新法の比較

HIV-1RNA 定量



●参考文献

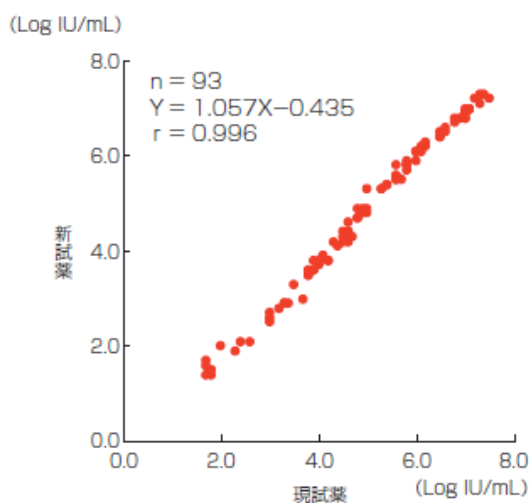
目崎 和久, 他: 医学と薬学 73 (6) : 705~709, 2016.

変更日：平成29年5月12日(金)より変更

変更項目： 3263 HCV RNA 定量

本項目におきましても、前述の2項目と同じ測定機器に変更させていただきます。

▼現法と新法の比較



●参考文献

菅原 昌章, 他: 医学と薬学 73 (10) : 1329~1339, 2016.

検査受託再開のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
この度、健診検査センターニュース No.565 にて検査一時受託中止させていただいた下記の検査項目を再開させて頂くことになりましたので、お知らせ致します。
何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

受 託 再 開 日： 平成 29 年 3 月 13 日（月）より再開

受 託 再 開 項 目： 2529 IV型コラーゲン・7S
2270 副甲状腺ホルモン関連蛋白（PTHrP）

| | |
|-----|--------------------|
| 備 考 | 外部委託先における検査受託再開のため |
|-----|--------------------|

公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター
TEL 0138-57-6571・FAX 0138-57-6580
E-mail : info@hma-labo.jp